

## XFdtdバージョンアップ情報 7.9.0

- アレイアンテナ解析のための各機能
- オブジェクトの暗号化

- XFdtd MIMOが新しく設定されました。
- 7.9.0から以下の名称の変更がありました。

XFdtd Pro	→	XFdtd Standard
XFdtd Bio-Pro	→	XFdtd Pro
GPUトークン	→	HPCTトークン

# アレイアンテナ解析のための各機能

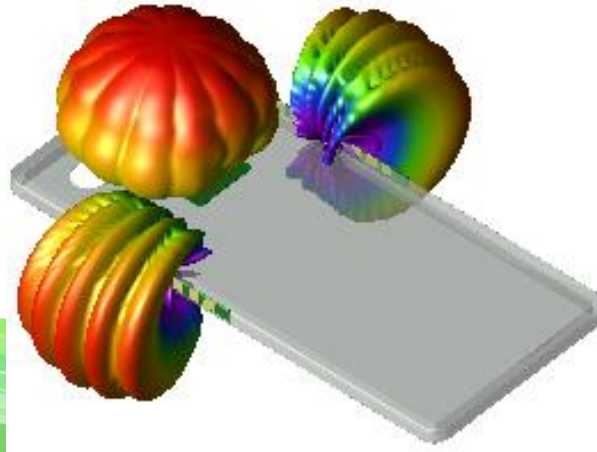
- ✓ アレイアンテナ解析の機能として、重ね合わせ機能とアレイ最適化機能が追加されました。
- ✓ これらの機能により、ユーザーは重ね合わせの原理を適用して、単一のFDTDシミュレーションから定常状態の結果を組み合わせることができます。
- ✓ 詳細は開発元のWebサイトをご確認ください。

- ✓ 重ね合わせ機能

<https://support.remcom.com/xfdtd/reference/simulations/create-superposition-simulation.html>

- ✓ アレイ最適化機能

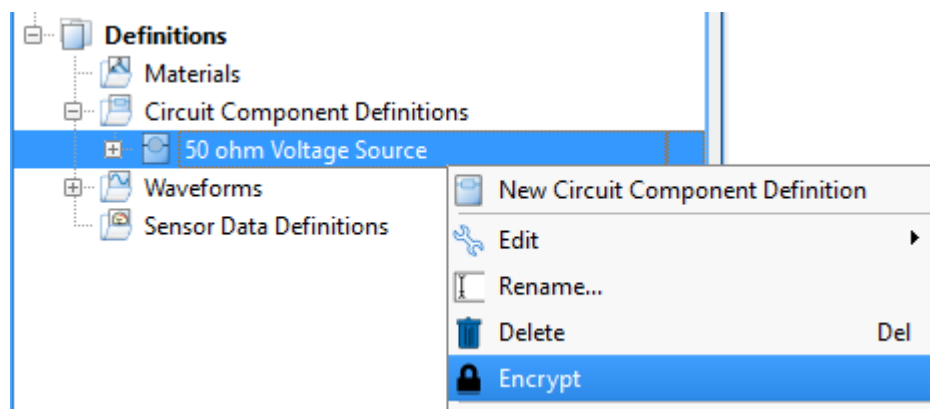
<https://support.remcom.com/xfdtd/reference/simulations/create-array-optimization.html>



# オブジェクトの暗号化

- ✓ XFtd 7.8.0 で追加されたオブジェクト暗号化機能が拡張され、アセンブリ、サブアセンブリ、パーツ、および回路コンポーネントにも適用できるようになりました。
- ✓ 暗号化されたジオメトリは、パーツリストでの表示、モデリング操作での使用、メッシュの表示、センサーでの使用、CADファイルへのエクスポートが制限されます。
- ✓ これにより、パートナーやサプライヤは、設計の詳細を明らかにすることなく、シミュレーションで使用するためのCADモデルを共有することができます。
- ✓ 詳細は開発元のWebサイトをご確認ください。

<https://support.remcom.com/xfdd/reference/general/object-encryption.html>



# 開発元のバージョンアップ情報ページ

この他のバージョンアップ項目や詳細情報は開発元のWebサイトよりご確認ください。

<https://support.remcom.com/xfdtd/releases/release-7-9-0.html>